

□ アナリスト週間相場予想

	原油 Oil	ガソリン Oil	灯油 Oil
江崎			
西			

Pick up News

[注目スケジュール]

- 9/19 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
- 24 米エネルギー情報局 (EIA) 在庫統計
- 25 石油連盟週報
- 26 CFTC建玉報告

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京ガソリン日足にボリンジャーバンドをつけたものである。今週東京が休日であった15日(月)にWTIが大きく売り込まれ、東京市場もストップ絡みの急落。先週の週報に記したように中段の揉み合いからのブレイクダウンを鮮明にした。今週は火曜日から木曜日まできれいに下降バンドウォークを示現しており本日は金曜日、週末の利食いと思われる反発を演じている。しかしながら下降バンドウォークの終了サインである標準偏差マイナス1σに値段は戻っておらず、積極的な買いサインは現在無い。むしろWTIは100ドルのレジスタンス、東京ガソリンは75910円(9/10)のレジスタンスを意識して売り方針で臨みたい。(9/19 14:30現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

米金融危機に端を発した商品市況の悪化にもようやく歯止めが掛かる兆しが見え始めた。リーマン・ブラザーズの破綻、AIGの救済に続き、英国ではロイズがHBOSを買収するなど、金融再編の波は世界的な広がりを見せ始めた。市場ではモルガン・スタンレーの合併の可能性も視野に入った。米SECは空売り規制を全銘柄に拡大、そして1億ドル以上のショートポジションを持つ大口投資家やヘッジファンドに対しては、日々ポジションを公開させる方向で調整に動いている。株価急落から金融機関の経営危機につながる悪循環を断ち切る意思を強く示している。

また、各国の金融機関が協調してドルの供給体制を強化したり、米国では不良債権の買い取り構想が浮上するなど、ここへ来て矢継ぎ早に対策が打たれている。一連の流れを受けて、信用不安はようやく和らぎ始めており、これがクロス円の買い戻し、そして商品相場の買い戻しを促している。リスク資産圧縮の動きが収まれば、さすがに100ドル割れを売り叩く向きは多くはないだろう。

今週末の米国市場の動き次第では、一段とショートカバーに値を飛ばす可能性も高い。ただ、注意しておくべきはインデックス・ファンドのポジション動向。AIGが抱える同ファンドはゴールドマン・サックスに次ぐ規模として知られ、ポジションの移管あるいは決済に関してまだ波乱余地を残す。さらに、休会明けとなった米議会では投機規制に関する議論が再開されている。米商品取引委員会(CFTC)はファンドの影響ではなく、相場の高騰は需給によるものとの見識を変えてはいない。未だ規制が必要とする向きとは意見の隔たりが大きいのが現状である。不透明感を嫌って、ファンド・マネーが市場から撤退を続ければ、大きな上値は期待出来なくなる。目先は自立反発に留まるものと考え、深追いは避けておきたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年9月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から16,800円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年9月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)